

このリリースは重工業研究会および本町記者会に配布しております。



Press release

2013年3月22日

報道関係各位

フォーデイズ、米国創薬メーカーのエマウス・ライフサイエンス社に資本参加
～遺伝的難病「鎌形赤血球症」治療新薬開発をフォーデイズが支援、業務提携も視野に～

フォーデイズ株式会社

核酸（※1）栄養の健康食品および化粧品を販売する国内ネットワークビジネス第4位フォーデイズ株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：和田佳子）は、遺伝的な難病「鎌形赤血球症」（※2）治療薬の第Ⅲ相治験（※3）を行なっているエマウス・メディカル株式会社を傘下にもつホールディング・カンパニーのエマウス・ライフサイエンス株式会社（両社とも本社：米国カリフォルニア州トーランス市、代表取締役：新原豊）へ資本参加を2012年10月から段階的に行い、このほど合計252万ドル（約2億1,000万円）の資本参加及び融資の履行をさせていただきました。

この資金援助によりフォーデイズはエマウス・ライフサイエンス社の100%子会社であるエマウス・メディカル社が取り組む「鎌形赤血球症」治療新薬の最終段階ともいえる第Ⅲ相治験を支援することになりました。

またエマウス・メディカル社は、この資本参加及び融資を受けて2012年12月3日に第Ⅲ相治験の患者登録を完了することができました。

フォーデイズでは、難病治療薬開発に取り組むエマウス・メディカル社を支援することで世界的に広がる「鎌形赤血球症」罹患者を救済するための社会貢献を第一義としてとらえ、今回の資本参加及び融資の実施をさせていただきました。

今後もお客様の健康を守る役割と同時に、大手の製薬会社が営利の観点から開発に力を入れない分野で、恵まれない環境にあって救済を待つ罹患者を助けようとその治療薬を開発するエマウス社を支援することにより一日も早く新薬が投与できるよう共に推進していく方針です。

また、フォーデイズは今回の資本参加及び融資の実施にあわせて、エマウス社の遺伝的難病への創薬開発に加えて、双方の知見を生かした業務提携も視野にいれております。フォーデイズでは主力製品「核酸ドリンク」を使った乳がんの放射線治療による副作用軽減などの臨床試験の実施を通じて科学的な実証を行い、人々の健康の促進及び回復の両面で寄与できるように協力していく方針です。その他の新規ビジネスの展開など業務の多様化にも一層加速してまいります。

※1 「核酸」とは

遺伝子の情報は細胞の核内に存在する DNA に書き込まれており、その情報を RNA が写し取ってさまざまなたんぱく質を合成しています。DNA と RNA は核内にある酸性の物質ということで「核酸」と呼ばれています。

※2 「鎌形赤血球症」とは

赤血球が酸化することで堅い鎌状になり、それが毛細血管を閉塞させる遺伝的な血液疾患で、アフリカ系の黒人特有の病気です。この「鎌形赤血球症」の遺伝子を一つでも持っている人はマラリアにかかりにくい結果が判明されている一方、両親から二つの遺伝子を受け継いだ場合は、その遺伝子が原因で「鎌形赤血球症」が発生します。

この症状が発生すると耐え難い痛みや若くして死に至るほどの臓器損傷を引き起こします。患者は米国と EU で 20 万人、世界全体では中央アフリカと南米を中心に 400 万人以上にものぼります。一部の地域では 50 人に 1 人がこの病気と共に生まれてきますが、その内 90% は 5 歳まで、99% は 20 歳まで命が持たないと言われています。現在のところ「鎌形赤血球症」に対する有効な治療法はありません。

※3 第Ⅲ相治験とは

第Ⅰ相治験から第Ⅲ相治験までがあり、第Ⅰ相治験では新薬候補の安全性、第Ⅱ相治験では有効性、第Ⅲ相治験では安全性と有効性双方の最終確認とされています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

フォーデイズ株式会社 広報室：小松

TEL : 03-5643-0761 (直通)

Mail : komatsu@fordays.jp

■ 「フォーデイズ株式会社」企業情報

会社名：フォーデイズ株式会社

所在地：〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21

代表者：和田佳子

創業：1997年4月

資本金：4500万円

企業情報：

従来のネットワークビジネスの弊害を解消するために、すべての会員への受注・発送・集金はフォーデイズ本社が行なうという流通スタイルにすることで、紹介者が在庫やノルマを抱えることが無い販売形態を構築。主力製品の核酸ドリンク「ナチュラルDNコラーゲン」は、人の細胞の中に存在し健康と若さに役立つといわれる栄養素「核酸」に注目し、1999年12月に販売を開始、以後、現在に至るまで5度の改良を施しました。昨年2012年末に会員数は28万人を超え、2012年3月期の売上高353億円と12期連続の増収を更新。

核酸栄養のリーディングカンパニーとして健康食品と化粧品業界を牽引中。

■ 「エマウス・ライフサイエンス社」企業情報

会社名：エマウス・ライフサイエンス社

2011年にリバースマージャー（逆買収）を経てエマウス・メディカル社の持株会社となる。

所在地：米国カリフォルニア州トーランス

代表者：新原豊（にいはらゆたか）

創業：2007年

資本準備金：2,115万米ドル（平成24年6月末）

事業内容：希少疾患に対する革新的で費用効果の高い治療法の発見、開発、商業化

企業情報：

2000年創業のエマウス・メディカル社は、希少疾患に対する革新的で費用効果の高い治療法の発見、開発、商業化に従事しているエマウス・ライフサイエンス社の特別疾患治療法に特化した子会社です。同社は、鎌形赤血球病治療法の第3相治験の完了を目指しており、又再生医療分野での研究、開発と販売を目的とした業務提携も進めています。さらに詳しい情報は、www.emmausmedical.com 又は www.nutrestore.comをご覧下さい。

■ 「エマウス・メディカル社」企業情報

会社名：エマウス・メディカル社

所在地：米国カリフォルニア州トーランス

代表者：新原豊（にいはらゆたか）

創業：2000年

事業内容：1. 希少疾患に対する革新的で費用効果の高い治療法の発見、開発、商業化

2. 鎌形赤血球症のための処方薬としてのアミノ酸L-グルタミンの開発

■ 「新原 豊医学博士、最高経営責任者、代表取締役社長」プロフィール

1959年生まれ。東京都出身（現在は米国籍を取得）、血液学専門医として、鐸形赤血球病で苦しむ患者を救うために、新たな治療方法を開発。その鐸形赤血球病の L-グルタミン治療法で特許を取得した主任開発者であり、エマウス・メディカル株式会社の共同設立者であります。

新原医学博士は、日米両国の医師免許を持ち、UCLA 医学部において腫瘍・血液学講座の臨床教授も務めています。数多くの助成金を取得しており、アメリカ国立衛生研究所からは「鐸形赤血球症のための L-グルタミン治療」研究への助成金を取得し、食品医薬品局から取得した、希少疾患用医薬品のための助成金では第Ⅲ相臨床治験が行なわれています。

参照：http://www.youtube.com/watch?v=rg_lk7nb51o